令和３年度

事　業　報　告
決　算　報　告

救うを託されている。

大切な人を思う時、

赤十字が動く時。

日本赤十字社　奈良県支部
Japanese Red Cross Society

－ 目 次 ―

令和３年度 事業報告

1	災害救護体制の強化	・・・・・・・・・	2
2	赤十字講習の充実	・・・・・・・・・	7
3	青少年赤十字の育成	・・・・・・・・・	9
4	国際活動の推進	・・・・・・・・・	10
5	救護看護師の養成	・・・・・・・・・	11
6	血液事業の推進	・・・・・・・・・	11
7	赤十字ボランティアの育成	・・・・・・・・・	12
8	効果的な広報活動の展開	・・・・・・・・・	18
9	活動資金の募集及び表彰制度	・・・・・・・・・	19
10	奈良県支部有功会	・・・・・・・・・	21

令和３年度 一般会計決算報告

1	令和３年度 一般会計決算報告	・・・・・・・・・	22
2	令和３年度 会費収入	・・・・・・・・・	23

参考資料

1	令和３年度 一般会費及び法人会費収納実績表・・・		24
2	令和３年度 火災・水害等による救援物資配布・弔慰金支給及び付添臨時救護派遣状況・・・		25
3	令和３年度 市町村別講習一覧	・・・・・・・・・	26

令和３年度 事業報告

１ 災害救護体制の強化 －災害からいのちを守る－

令和３年は、7 月に静岡県で、8 月には全国各地の広範囲において記録的な大雨となり甚大な被害をもたらしました。

また、近年は大規模地震による災害等も頻発しており、近い将来には、南海トラフ地震の発生が危惧されています。

このため、令和 ３ 年度は、災害に備え、災害救護体制の強化や救護資機材の整備を重点的に行ったほか、一昨年からの新型コロナウイルス感染拡大防止のための情報発信にも取り組みました。

(1) 救護班の編成

地震や大型台風などによる自然災害などで被災された方々の医療救護を行うため、公的医療機関と協働で救護班を編成し、要員登録や訓練・研修に取り組んでいます。

名 称	班数	備考（委託契約締結日）
奈良県総合医療センター	2班	平成 26 年４月１日委託契約締結 （地方独立行政法人 奈良県立病院機構）
奈良県西和医療センター	2班	
南奈良総合医療センター	１班	平成 28 年４月 20 日委託契約締結
市立奈良病院	１班	平成 26 年４月１日委託契約締結
大和高田市立病院	１班	平成 26 年９月１日委託契約締結
奈良県立医科大学附属病院	１班	平成 28 年 11 月１日委託契約締結
合計	８班	

※１班の体制：医師１名・看護師３名・主事１名・調整員１名 計６名

(2) 日赤災害医療コーディネーター及びスタッフの登録

県内の災害時において、円滑に医療救護活動ができるよう被災地における医療ニーズを把握し、全国から支援に駆け付ける医療チームを効果的に調整することを目的に登録を行っています。

【医療コーディネーター・スタッフ一覧】

	南奈良総合 医療センター	奈良県立医科 大学附属病院	天理よろづ相談所 白川分院	奈良県総合 リハビリテーションセンター
コーディネーター （医師）		福島 英賢 淺井 英樹	關 匡彦	
スタッフ （看護師）	高山 良光 福塚 一代	南田 哲平		
スタッフ （薬剤師）	藤井 瑞基	松井 俊典 岡田 和也		西島 正人
スタッフ （主事）		植田 真弘		

※医療コーディネートチームは、医師・看護師・薬剤師・主事（事務職員等）で編成し、各支部3チーム以上置くことになっております。
※主事は、支部職員2名が登録されています。

▲奈良県立医科大学附属病院

▲天理よろづ相談所

(3) 救護体制強化のための研修

救護班等の知識と技術の向上を図るため、研修会に参加しました。

月日		研修名称 内　容	主催	参加人数
R4 2	5	防災ボランティアリーダー養成研修会(WEB) ・防災ボランティアリーダーの役割とコーディネート ・日本赤十字社の防災ボランティアの活動 ・他団体の取り組み・活動紹介 ・災害時のボランティア活動に必要な知識・準備物	本社	1 名 （支部職員）
3	13	日赤災害医療コーディネートフォローアップ研修会 ・日赤医療コーディネーターのコマンド&コントロールのあり方 ・ブロックによる調整、県庁における調整のあり方 ・日赤にとらわれない地域保健医療調整体制へのトータルマネジメント	本社	9 名 （奈良県立医科大学付属病院 2 名 天理よろづ相談所白川分院 1 名 南奈良総合医療センター 3 名 県総合ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ 1 名 支部職員 2 名）

(4) 救護資機材・救援物資の整備

南海トラフ地震などの大規模災害に備え、救護資機材・救援物資の整備を行いました。

（令和元年度から令和 3 年度までの 3 ヵ年計画）

【令和 3 年度に新たに整備した主なもの】

品 名	型 式 等	数量	品 名	型 式 等	数量
エアテント	太陽工業㈱社製 大型エアテント(HV 式)	1 張	地区分区 災害救援車	ダイハツハイゼット	3 台
フォークリフト	杉国工業製ｳｫｰｷｰﾀｲﾌﾟ	1 台	地区分区 AED	ハートスタート	19 台
災害用ヘルメット	IZANO2・名入れ	30 個	診察台	有孔アルミライト	4 台
災害用 テレビモニター	SHARP75 インチ	1 台	スクープ ストレッチャー	XT132000066	3 台
非常食	惣菜	100 食	布団	6 点セット	100 組
	携帯おにぎり	100 食	ブルーシート	3.6m×5.4m	100 枚
	保存水(24 本入)	10 箱	バスタオル	60 ㎝×130 ㎝	500 枚

▲エアテント

▲地区分区災害救援車

▲地区分区 AED

▲災害用ヘルメット

▲災害用テレビモニター

▲非常食

① 救護資機材の整備

【奈良県支部】※( )の数字は令和 3 年度に整備したもの

品名		数量
救護班装備品	医療資機材携行用鞄(1ｾｯﾄ4ﾊﾞｯｸ)	7
	救護班要員携行ﾊﾞｯｸﾞ	30
	大型救急箱	5
	パルスオキシメーター	9
	電子体温計	20
	ターニケット(止血帯)	50
	自動体外式除細動器(AED)	3
救護班要員装備品	救護服：上下	196
	ヘルメット	30（30）
	救護服：雨衣	30
	救護服：防寒衣	30
	救護服：Tシャツ	110
	防護メガネ	20
	LEDヘッドライト	10
	懐中電灯	10
	ペンライト(ホルダー付)	30
	寝袋	50
	万能ハサミ	20
	ホイッスル	50
非常食	アルファー米	300
	パン	100
	ドライスープ(2 種)	300
	惣菜(3 種)	200（100）
	携帯おにぎり	100（100）
	丼物（2 種）	65
	水（500ml）	960（240）
	ようかん(5 本入)	20
原子力対応資機材	空間線量率測定用ｻｰﾍﾞｲﾒｰﾀ	1
	防護服セット	6
	デジタル個人線量計	7
支援要員資材	ボランティアユニフォーム	40
	ボランティア反射チョッキ	50
	ボランティア帽子	50
	防寒衣	59
	雨衣（白色・黄色）	50
災害救護車両	災害通信指揮車 (衛星電話搭載)	1
	救急車	1
	災害救援車	5
	救護資機材運搬トラック	1

品名		数量
救護所資機材	大型フレームテント	2
	大型エアーテント（ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄ式）	2（1）
	エアーテント	1
	組立式テント	6
	ワンタッチテント(大 3・小 4)	7
	プライベートテント	1
	間仕切り用プラテーション(2種類)	30
	簡易トイレ	1
	簡易トイレ用ワンタッチテント	2
	自家発電機(ガソリンタイプ)	6
	蓄電池	1
	投光器	5
	誘導灯	5
	冷暖房機器 （冷暖房器：3、暖房器：1、冷房器：3）	7
	診察台	8（4）
	折畳式寝台	80
	簡易ベッド	6
	傷病者用毛布	70
	スクープストレッチャー	3（3）
	担架	8
	担架架台	10
	LED ランタン	9
	拡声器	3
	リヤカー(大・小)	各1
	レスキューカー	2
	フォークリフト	1（1）
	移動炊飯器	8
通信機器	業務用無線基地局（150MHz・400MHz）	2
	業務用無線陸上移動局(車載機)（〃）	12
	業務用無線陸上移動局(携帯機)（〃）	8
	アマチュア無線局	1
	室外設置用外部アンテナ(衛星携帯電話用)	3
	デジタル通信システム (D-STAR レピーター)	2
	特定小電力トランシーバー	10
	携帯電話	1
	データ通信端末	1
	デジタルカメラ	3
	災害用 PC・タブレット	3
	災害用テレビモニター	1
	衛星携帯電話	3

【地区分区(市町村)】※( )の数字は令和３年度に整備したもの

品名		数量	品名	数量
災害対応資機材	災害救援車	52(3)	ワンタッチテント(大)	24
	移動炊飯器	53	自動体外式除細動器(AED)	30(19)
	発電機:ガソリンタイプ 1600W	22	発電機:ガソリンタイプ 900W	3
	LED 投光機:スタンドタイプ	36	発電機:プロパンタイプ 850W	11

② 救援物資の備蓄、配付状況

❍備蓄状況(支部・地区分区において備蓄)※( )の数字は令和３年度に整備したもの

毛 布	緊急セット	安眠セット	布 団	バスタオル	ブルーシート	タオルケット
3,187 枚	1,389 ｾｯﾄ	1,132 ｾｯﾄ	517 組(100 組)	1,286 枚(500 枚)	762 枚(100 枚)	1,535 枚

❍救護資機材の貸出

資器材名	釜セット	テ ン ト	A E D
件数	0 件	0 件	7 件

❍火災による救援物資の配付・弔慰金の支給

【救援物資の配布】

世帯数	25 世帯
人 数	60 人

毛 布	緊急ｾｯﾄ	布 団	ﾊﾞｽﾀｵﾙ	安眠ｾｯﾄ	ﾌﾞﾙｰｼｰﾄ	ﾀｵﾙｹｯﾄ
57 枚	15 ｾｯﾄ	33 組	22 枚	0 ｾｯﾄ	1 枚	15 枚

【弔慰金の支給】

人数	金 額
4 人	80,000 円

▲毛布

▲安眠セット

▲緊急セット

(5) 災害時物資支援協定の締結

大規模災害が発生した際、支部の備蓄のみでは充分な活動ができないことから、迅速かつ的確な災害救護を実施できる体制を構築するため、企業・団体との災害時物資支援協定に取り組んでいます。

▲㈱八百彦商店との物資支援協定
:H26.2.11 締結

▲一般社団法人奈良県 LP ｶﾞｽ協会との物資支援協定:H29.1.23 締結

▲板倉石油㈱との物資支援協定
H29.10.25 締結

(6) 救急箱の整備

昭和 37 年から県民の方々や観光客等がけがをされた際に、交番や駐在所においても簡易な応急手当ができるように救急箱の設置及び薬品の更新を隔年で行っています。

令和 3 年度は 176 ヵ所の県内交番及び駐在所に救急箱薬品を贈呈しました。

▲救急箱薬品の贈呈式

(7) 国内義援金の受付

義援金を募集する災害は、原則として災害救助法が適用され、かつ配分対象の都道府県に義援金配分委員会が設置されていることが基本的な条件です。

また、同じ災害によって、居住する都道府県によってばらつきが生じないように、災害毎に一元的に災害程度に応じて按分した上で、各被災地の都道府県義援金配分委員会に送金し、全額が被災された方々に各市町村からお届けされます。

【令和 3 年度受付実績】　（単位：円）

義援金募集名	件数	金額	募集期限	前年度までの累計
平成30年7月豪雨災害義援金	12	41,917	令和4年6月30日	66,834,666
令和2年7月豪雨災害義援金	65	661,316	令和4年9月30日	13,813,699
令和3年2月福島県沖地震災害義援金	20	30,679	令和3年5月31日	170,224
令和3年島根県松江市大規模火災義援金	3	4,010	令和3年5月31日	
令和3年7月大雨災害義援金	51	4,371,608	令和3年12月28日	
令和3年台風第9号等大雨災害義援金	13	109,898	令和3年12月28日	
令和3年8月大雨災害義援金	48	581,022	令和4年3月31日	
令和3年長野県茅野市土石流災害義援金	11	138,865	令和4年3月31日	
令和4年3月福島県沖地震災害義援金	3	143,000	令和4年6月30日	
合計	226	6,082,315		80,818,589

2 赤十字講習の充実 －いざという時に備えて－

「健康と安全」及び「地域福祉」に役立つ知識と技術を広く県民に普及・指導することを目的として、「救急法」「水上安全法」「健康生活支援講習」「幼児安全法」等の講習を実施しました。令和 3 年度は、県内各地で 171 回開催し、延べ 4,424 人の方に受講いただきました。また、ガイドライン 2020 の改訂に伴い、指導員への伝達研修を実施しました。

(1) 防災・減災のための講習会

① 地域防災力の向上を図るため、防災・減災のための講習会を支部及び県内各地域で開催しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
地域で考える災害時の備え ・赤十字防災啓発プログラム ・体験プログラム など	2時間以上	7 回	276 人
災害時要配慮者生活支援講習			
防災セミナー	適宜	10 回	416 人
計		17 回	692 人

② 防災教育指導者を育成するため、防災教育事業指導者研修会に参加しました。

月日		研修名・内容	実施場所	参加対象及び人数	
7	12 13	防災教育事業指導者養成研修会 ・防災教育事業指導者について ・災害への備え ・災害エスノグラフィー ・災害図上訓練（DIG）	支部 (WEB)	安全法指導奉仕団 支部職員	2 人
9	11	防災教育事業主任指導者研修会 ・防災教育事業の展開状況 ・主任指導者の役割 ・防災教育事業における課題	支部 (WEB)	防災教育指導者 支部職員	2 人

▲赤十字防災啓発プログラム

▲避難所運営ゲーム(HUG)

▲災害時要配慮者生活支援講習
～「てあらいくん」で洗い残しをチェック～

(2) 救急法等の講習会

① 救急法

心肺蘇生やAEDの使用法などの救命手当を習得する「基礎講習」や、止血・包帯・搬送の方法などを習得する「救急員養成講習」などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
基礎講習	4時間	12 回	168 人
救急員養成講習	12時間	3 回	103 人
短期講習	2時間以上	89 回	2,479 人
指導員養成講習	30時間		
計		104 回	2,750 人

▲基礎講習

※基礎講習修了後、救急法救急員及び水上安全法救助員養成講習の受講が可能になります。

② 水上安全法

身近なものを使った応急手当や着衣泳（服を着たまま溺れた場合の対処方法）講習などを実施しました。

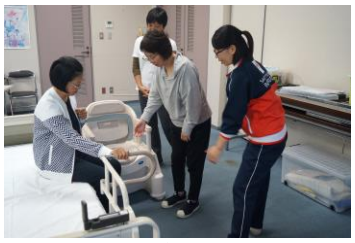
講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
救助員養成Ⅰ講習	14時間		
短期講習	2時間以上	11 回	244 人
指導員養成講習(ﾌﾞﾛｯｸ合同)	30時間		
計		11 回	244 人

▲救助員養成Ⅰ講習

③ 健康生活支援講習

健やかな高齢期を過ごすための健康増進・介護方法などの講習や、地域福祉の向上のための介護職員研修などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
支援員養成講習	12時間		
短期講習	2時間以上	10 回	289 人
指導員養成講習	30時間		
計		10 回	289 人



▲支援員養成講習

④ 幼児安全法

乳幼児に対しての救命手当や、子どもに起こりやすい事故の予防と手当、家庭内での看病の方法などの講習を実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
支援員養成講習	12時間		
短期講習	2時間以上	29 回	449 人
指導員養成講習	30時間		
計		29 回	449 人

▲支援員養成講習

3 青少年赤十字の育成 －思いやりを育む－

将来をになう児童・生徒が、自ら「気づき・考え・実行する」という生きる力を養うため、先生等の青少年赤十字指導者の協力のもと、学校教育の現場で豊かな人間性や社会性を育む活動に取り組みました。

(1) 加盟校の状況

項目	保育園・幼稚園	小学校	中学校	高等学校	計
加盟校	30 校	73 校	18 校	10 校	131 校

(2) 青少年赤十字防災教育の推進

青少年の健康と安全を守り、学校や地域、家庭での防災意識の向上を目的に、青少年赤十字防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」（小・中・高校生向）や「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」（幼稚園・保育所向）の教材を活用した防災セミナーなどを随時開催し、防災啓発物品として「鉛筆」を配布するなど、防災意識の向上に役立てました。

【講習の開催状況】

月	日	研修・講習内容	場所	参加対象及び人数	
8	8 10	親子で学ぶ防災教室 ・災害シミュレーション ・身近なものを使った応急手当	支部	県内在住の親子	3 組 6 人
	23	防災教育プログラム ・防災の知識の災害の備え ・まもるいのちひろめるぼうさいを使った授業づくり ・HUG 個人ワーク	県立教育研究所	県内小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員	160 人

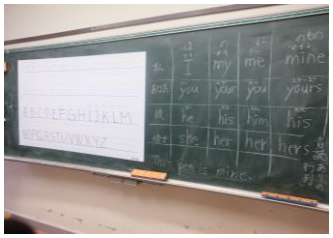
▲ラップを使った手のつり方

▲防災教育教材

(3) 青少年赤十字加盟校の活動支援事業

青少年赤十字加盟校が地域とふれあいながら、特色のある活動に対して、助成金を交付し支援を行いました。

学校名	事業名称	参加人数	活動内容
奈良市立 鼓阪小学校	外国語で交流しよう	81 名	●スムーズな外国語学習をおこなえるようにする ●「話す」「聞く」活動に「書く」活動を足すことで「話す」「聞く」がさらに活性化するようにする。 ●様々な方面から外国語に触れることで外国語を使うことに対する自信をつけ、国際的に活動できる人材を育成する


▲外国語授業のようす

(4) 研修会・講習会等

月	日	名 称	場所	内 容	参加人数
6	5	青少年赤十字リーダーシップトレーニングセンター指導者養成講習会	支部(WEB)	青少年赤十字とリーダーシップトレーニングセンターの運営 青少年赤十字活動事例報告	1人
	29	青少年赤十字全国指導者協議会・総会	支部(WEB)	役員改選及び役員会の報告 報告「コロナ禍における青少年赤十字の取組みと今後の課題」	1人
9	30	青少年赤十字研究会	支部(WEB)	講演「青少年赤十字の現状とこれから」 「青少年赤十字と国際理解、親善、SDGsとの関わりについて」	1人

4 国際活動の推進 －世界とつながる－

世界192の国と地域にある赤十字の一員として、本社と連携し、災害や紛争等で苦しむ人々の緊急救援や復興支援などの人道的活動を行いました。

▲ウクライナ人道危機
ウジホロドで衛生キットを配付する赤十字スタッフ

(1) 支部の国際活動への参加

バングラデシュ保健医療支援事業に資金協力をしました。

(2) 海外救援金の受付

【令和３年度受付実績】 （単位：円）

救援金募集名	件数	金額	募集期限	前年度までの累計
中東人道危機救援金	1	1,020	令和5年3月31日	190,533
バングラデシュ南部避難民救援金	1	5,020	令和5年3月31日	64,786
2021年ハイチ地震救援金	2	310,000	令和3年11月30日	
アフガニスタン人道危機救援金	2	12,744	令和5年3月31日	
トンガ大洋州噴火津波救援金	8	2,129,240	令和4年3月31日	
ウクライナ人道危機救援金	128	8,752,630	令和4年9月30日	
アフリカ救援金	1	1,000,000	随時	
合計	143	12,210,654		255,319

(3) NHK海外たすけあいの受付

【令和３年度受付実績】 （単位：円）

受付窓口	件数等	金額	備考
日赤奈良県支部	72	183,915	南都銀行、農協の振込を含む
NHK奈良放送局	41	371,388	奈良市・大和高田市・大和郡山市・天理市・生駒市・香芝市・生駒郡・広陵町の地区奉仕団が協力
街頭募金	10ヵ所	259,246	地域奉仕団が県内各地で実施
ゆうちょ銀行	405	7,370,960	県民から本社への振込
合 計		8,185,509	

5 救護看護師の養成 －国内外で活躍できる看護師を－

看護に関する幅広い能力と、救護に関する専門知識を兼ね備えた実践者を育成するため、大阪赤十字看護専門学校と京都第二赤十字看護専門学校へ委託し、看護師養成事業を行いました。

奈良県支部では、これまでに 40 名の看護師を養成しています。

（平成 22 年度まで和歌山、平成 23 年度から令和 2 年度まで大阪、令和 3 年度から京都第二）

▲戴帽式

▲看護体験学習

6 血液事業の推進 －献血にご協力を!!－

奈良県赤十字血液センターでは、血液製剤を安定的にお届けできるよう、献血者の安定的な確保と安全な輸血用血液の供給に努めました。

(1) 愛の血液助け合い運動（7 月～8 月）、全国学生クリスマス献血キャンペーン（12 月）、はたちの献血キャンペーン（1 月～2 月）、バレンタイン献血(2 月)、近畿統一キャンペーン(3 月)等を実施しました。

(2) 若年層の献血者確保事業や青少年等献血ふれあい事業を実施しました。
・献血セミナー
・学内献血

(3) 献血推進の広報活動を行いました。（新聞広告掲出：県有功会）
・愛の血液助け合い運動
・はたちの献血キャンペーン

▲学生献血推進協議会
（近畿統一キャンペーン）

▲全国学生クリスマス献血キャンペーン

▲高校献血

7 赤十字ボランティアの育成 －活動を支える－

赤十字ボランティアは、各分野において、赤十字活動や地域の活動に積極的に貢献いただいており、また災害時等における「共助」の担い手として、大切なリーダー的存在であるため、その活動を積極的に支援しました。

（1）地域赤十字奉仕団（団数及び団員数：39 団、2,774 名）昭和 23 年発足

・全体の取組として赤十字事業の普及と推進、ハンセン病療養所の訪問（岡山県）と地区委員会、防災・減災をテーマにした研修会などを開催しました。

・地域活動では地域ニーズに応じた独自活動のほか、献血の呼びかけ、クリーンキャンペーンへの参加、NHK海外たすけあいの募金活動と受付協力、防災訓練への参加などに取り組みました。

① 「地域赤十字奉仕団活動促進助成金交付事業」

地域赤十字奉仕団（分団）が取り組む赤十字活動に対し助成金を交付し、奉仕団の活動を促進することにより、赤十字活動に対する県民の理解を深め、健康で安心に暮らせる共同社会の構築に寄与する奉仕活動に助成金を交付しました。

奉仕団名	事業名称	活動内容
奈良市地区赤十字奉仕団 大宮分団	大宮ふれあい農園「世代をこえて人の輪をひろげよう」	野菜の苗植えや収穫祭、子ども達によるサツマイモのツルを使ったクリスマスリースを高齢者へ配布しました。
奈良市地区赤十字奉仕団 左京分団	左京おきがる食事会	幼児～小学生と高齢者とで食をとおして、地域住民とのふれあいをつくり、折り紙やミニゲームをすることで楽しい交流の場を提供しました。
奈良市地区赤十字奉仕団	手作りマスク普及活動	各分団で手作りマスクを作成し、市内の福祉施設等へ配付しましました。
御所市赤十字奉仕団	独居老人に向けた手作りマスクの配布	団員が手作りマスクを作成し、民生児童委員から、独居老人に配付しました。

▲奈良市地区赤十字奉仕団大宮分団
～大宮ふれあい農園～

▲奈良市地区赤十字奉仕団左京分団
～左京おきがる食事会～

▲奈良市地区赤十字奉仕団
～手作りマスク普及活動～

▲御所市赤十字奉仕団
～独居老人に向けた手作りマスクの配布～

② 地域奉仕団対象防災講習会の開催

地域奉仕団の基礎、災害時の役割や避難所での役立つ知識を習得することを目的に地域奉仕団の役割、避難所での生活支援、避難所グッズの作製などの知識・技術の習得に取り組みました。

▲避難所支援講習会での段ボールベットの作製

③ ハンセン病療養所を訪問し、入所されている奈良県出身者の方との交流を行いました。（10 月 1 日：岡山県瀬戸内市）

▲ふれあい交流会

▲納骨堂参拝

④ 講習普及活動、献血協力の呼びかけや、クリーンアップキャンペーン(近鉄石見駅周辺 7 名、大和川堤防沿い 6 名）に参加しました。

⑤ 地域内での「法人会費」及び「災害義援金」の募集活動、「NHK海外たすけあい」の募集活動及びNHK 奈良放送局での受付に協力しました。また、近畿大学農学部赤十字奉仕団との協働事業として、「ウクライナ人道危機救援金」の街頭募金を実施しました。（令和 4 年 3 月 28 日：近鉄生駒駅前）

▲近鉄生駒駅前での街頭募金

⑥ モデル奉仕団の指定による活動

奉仕団名	活動内容	指定期間
大淀町赤十字奉仕団 (団員：18 人)	モデル活動名：災害救護に関する活動	令和 3 年度～ 令和 5 年度
	赤十字講習の受講、防災施設見学、防災訓練の実施、紙芝居作製	
川西町赤十字奉仕団 (団員：12 人)	モデル活動名：地域とともに歩む日赤奉仕団	令和元年度～ 令和 3 年度
	新型コロナウイルス感染症防止啓発、マスクケースの作製・配布、防災講座の開催、防災備蓄倉庫見学、クリーンアップならキャンペーン参加	

▲川西町赤十字奉仕団
マスクストラップ作り講座開催

▲大淀町赤十字奉仕団
園児に布袋など贈呈

⑦　研修会･講習会等

月 日		名 称	場 所	内 容	参加人数
4	6～5/26	地区委員会	県内7地区	令和３年度支部･血液センター事業計画報告等	63 人
5	28	奉仕団中央委員会	(WEB)	中央委員会常任委員改選 感染予防に留意したボランティア活動 コロナ禍における奉仕団の活動	１人
6	14	奉仕団支部委員会	支部	役員改選 令和３年度地域奉仕団研修会について	17 人
7	20	地域奉仕団研修会	橿原市	講演「こころのケア」	134 人
10	28･29	ボランティアリーダー研修会	(WEB)	赤十字の基本方針、赤十字理念、国際人道法、奉仕団の活動	１人
R4 2		奉仕団支部委員会(文書審議)		委員の解職、令和３年度事業中間報告 令和４年度事業計画	

▲奉仕団支部委員会

▲地域奉仕団研修会

(2) 安全法指導赤十字奉仕団（団員：117 名）昭和 52 年発足

（救急法指導員 80 名、水上安全法指導員 25 名、幼児安全法指導員 24 名、健康生活支援講習指導員 14 名）

・赤十字救急法、健康生活支援講習、幼児安全法、水上安全法の講習を普及するために組織された奉仕団です。

・11月の奈良県赤十字大会では、受付などスタッフとして協力しました。

①　講習会指導状況

区分		回数(回)	受講者数(人)	指導者数(人)
基礎講習		12 回	168 人	48 人
養成講習	救急法	3 回	103 人	8 人
	水上安全法			
	幼児安全法			
	健康生活支援講習			
短期講習	救急法	74 回	2,205 人	96 人
	水上安全法	11 回	244 人	11 人
	幼児安全法	17 回	321 人	17 人
	健康生活支援講習	1 回	33 人	1 人
災害時要配慮者生活支援講習				
計		118 回	3,074 人	181 人

② 研修会、講習会等

月	日	行事名	場 所	内 容	参加人数
4	17	総会	支部	令和２年度事業報告、会計報告 令和３年度事業計画、予算等審議	31 人
		救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など（受講者 11 人）	７人
9	25	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など（受講者６人）	５人
	26	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など（受講者３人）	４人
10	24	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など（受講者６人）	４人
	30	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など（受講者５人）	２人
11	29.30	奈良県赤十字大会	奈良市	スタッフ協力(受付・表彰品渡し・会場案内)	14 人
R4 1	13	三役会議	支部	役員会について	３人
	29	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など(受講者６人)	３人
2	27	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など(受講者５人)	３人
3	5	役員会	支部	令和４年度総会について	９人
	12	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など(受講者８人)	３人

▲研修会

▲講習指導

(3) 無線・救護赤十字奉仕団（団員：18 名）昭和 47 年発足

平成 25 年度に無線赤十字奉仕団から名称変更

・無線の資格を生かし、災害時の情報収集や伝達活動をするために組織された奉仕団です。

・今年度は、他府県との通信訓練に参加しました。また、11 月の奈良県赤十字大会では、会場案内のスタッフとして協力しました。

研修会・講習会等

月	日	名 称	場 所	内 容	参加人数
4	10	第４ブロック連絡協議会	大阪市	各府県活動報告、計画	１人
8		総会(文書審議)		令和２年度活動報告 令和３年度活動計画	
10	24	幹事会	支部		５人
		通信訓練・機器メンテナンス	支部		４人
11	29.30	奈良県赤十字大会	奈良市	スタッフ協力(会場案内)	２人
12	4	奈良マラソン救護に係る研修	支部		４人
	12	奈良マラソン救護支援	奈良市	救護支援	３人
無線通信訓練の実施		島根県（6/13）、岐阜県（6/27）、鳥取県（10/17）、兵庫県（10/24）、和歌山県（11/7）、鹿児島県（11/14）、北海道（11/28）、栃木県（12/4）、愛知県（12/19）、神奈川県（2/20）			

（4）看護赤十字奉仕団（団員：47 名）昭和 48 年発足

・看護師の資格を有したボランティア組織です。主に地域社会に貢献しようと奈良マラソン等、公共性の高い行事等の臨時救護などを通じて赤十字思想の普及に努めました。

救護活動回数

区分	回数	人数
臨時救護	12 回	14 人
団体付添救護		
計	12 回	14 人

（5）青年赤十字奉仕団（団員：20 名）

（奈良県青年赤十字奉仕団：2 名　昭和 60 年発足
近畿大学農学部赤十字奉仕団：18 名　平成 4 年発足
奈良大学学生赤十字奉仕団：休団　平成 24 年度発足）

・勤労青年や大学生によるボランティア組織です。主に赤十字思想の普及、他府県との交流や献血事業の推進に努め、青少年赤十字活動のサポート、救急法の習得を行いました。

① 国内外で発生する災害などに対する義援金・救援金の募金活動を実施しました。

月日		災害名	場所	人数
R4 3	7	トンガ大洋州噴火津波救援金 ウクライナ人道危機救援金	近鉄生駒駅	近畿大学農学部奉仕団 4 人
	24	ウクライナ人道危機救援金	JR 芦屋駅前	近畿大学農学部奉仕団 芦屋大学学生奉仕団 計 4~5 人
	28	ウクライナ人道危機救援金	近鉄生駒駅	近畿大学農学部奉仕団 2 人 地域赤十字奉仕団 6 人

▲トンガ大洋州噴火津波救援金・ウクライナ人道危機救援金　街頭募金

② 研修会・講習会等

月 日		名 称	場 所	内 容	人数
5	16	第 4 ブロック代表者会議	(WEB)	令和 2 年度事業報告・収支決算 令和 3 年度事業計画・収支予算 役員改選	4 人
	29	防災・減災に関するリモート研修	(WEB)	安全確保と避難所生活 災害時の食事、災害エスノグラフィー	1 人
6	13	基礎研修会	(WEB)	赤十字について、7 原則について	10 人
7	22	救急法基礎講習	奈良市	心肺蘇生、AED	6 人
9	25	第 4 ﾌﾞﾛｯｸ協議会第 1 回役員会	(WEB)	第 4 ブロックリーダー養成研修について	1 人
10	30.31	ボランティアリーダー研修会	(WEB)	赤十字の基本方針、赤十字理念、国際人道法 奉仕団の活動	1 人
	31	パパおすすめ子どもとアウトドア	奈良市	地域の親子と火起こし体験、工作指導	2 人

11	27	第４ﾌﾞﾛｯｸﾘｰﾀﾞｰ養成研修会	(WEB)	赤十字について、リーダーについて ワークショップ「コロナ禍で奉仕団としてできること」	４人
12	4	第４ブロック合同防災学習	(WEB)	講義「災害時の自助、共助、公助」 ディスカッション「コロナ禍の防災について」	１人
R4 2	5	第４ﾌﾞﾛｯｸ協議会第２回役員会	(WEB)	第４ブロックリーダー養成研修会について 令和４年度全国協議会委員の選出について 令和４年度全国協議会協議事項について	３人
3	5	第４ﾌﾞﾛｯｸ協議会第３回役員会	(WEB)	令和４年度全国協議会委員の選出について 令和４年度全国協議会協議事項について	３人

▲パパおすすめ子どもとアウトドア
（奈良市平城分団の活動に協力）

▲基礎研修会

▲救急法基礎講習

（6）青少年赤十字賛助奉仕団（団員：16 名）昭和 39 年賛助会として発足、平成 14 年に名称変更

・青少年赤十字の指導に当たっていた先生で組織され、青少年赤十字指導者やメンバーの活動を側面から支えています。

・「防災セミナー」などの講習や、11月の奈良県赤十字大会でのスタッフ等に協力しました。

① 「防災セミナー」や「親子で学ぶ防災教室」に協力しました。

月	日	名 称	内容	場所	人数
5	11.13	防災セミナー	防災教育について	奈良市	１人
8	8.9	親子で学ぶ防災教室	災害シミュレーション 身近なものを使った応急手当	支部	３人
	11.12	防災セミナー	避難所での対応について	奈良市	１人
	23	防災セミナー	防災教育について	田原本町	１人
10	27	防災セミナー	避難所での対応について	奈良市	１人

② 研修会等

月	日	名 称	場所	内 容	人数
9		県賛助奉仕団総会(文書審議)		令和２年度事業、決算報告 令和３年度事業計画、予算(案)	
11	29.30	奈良県赤十字大会	奈良市	スタッフ協力(会場案内)	３人

（7）防災ボランティア（個人）（登録人数：18 名）平成９年発足

・災害時の対応や、避難生活対応などの救護活動を行います。

「赤十字 NEWS」発送業務に協力しました。（11 月：5 名）

8 効果的な広報活動の展開 －活動へのご理解とご参加を－

赤十字の事業活動を、幅広く県民に知っていただき、赤十字ボランティアへの参加、会費募集への理解を深めるため、赤十字運動月間を中心に広報活動に努めました。

5 月の「赤十字運動月間」では、地区分区を通じて、「日赤なら」、「赤十字NEWS」などの配布や、近鉄奈良駅前行基広場での啓発用横断幕設置などの広報活動を行いました。

(1) 奈良県赤十字大会の開催

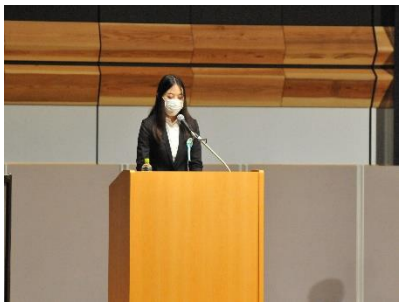
奈良県支部創立 126 周年、奈良県赤十字血液センター創立 50 周年を迎えるにあたり、日頃より赤十字事業へのご支援・ご協力をいただいている方々に感謝の意を表するため、奈良県赤十字大会を開催しました。

開催日	場所	参加人数
令和 3 年 11 月 30 日(火)	奈良県コンベンションセンター	約 400 名

▲有功章ご授与のご様子

▲奥山委員長による大会宣言

▲荻野委員長による奉仕団活動報告


▲島会長による献血活動報告

(2) 支部の広報活動

① 運動月間(5 月)に近鉄奈良駅前行基広場にて、啓発用横断幕を設置しました。

② テレビ放送(運動月間:5 月及び随時放送)での広報活動を行いました。(奈良テレビ、吉野テレビ、下市テレビに継続して放送依頼)

③ 広報誌「日赤なら」(5 月に 20 万部)を配布しました。

④ 遺贈、相続寄付を推進するため、日経電子版バナー広告を掲載しました。

⑤ 会員等関係者へ赤十字 NEWS を送付しました。

⑥ 講習受講者に、赤十字活動をPRし活動資金への協力を依頼しました。

⑦ ホームページによる各種情報等を発信しました。

⑧ 報道機関へは、広報資材をもって広報の協力依頼を実施しました。(随時)

（3）地区分区への広報活動

① 広報誌「日赤なら」20 万部作成し、各自治会等を通じて、県民に配布しました。

② 各地区分区広報誌への会費募集広報の依頼及び救急法等講習会の広報を実施しました。

③ 地区分区（市町村）主催の1日赤十字などのイベントや、自治会主催の防災訓練などのイベントで「赤十字パネル展」やのぼりなどの広報資材を通じて広報 PR を行いました。

（4）第 4 ブロック（近畿）合同広報活動

① 啓発資材（ポケットティッシュ）3 万個を作成し、イベント等で配布しました。

9 活動資金の募集及び表彰制度 －活動資金にご協力を!!－

日本赤十字社は、会員の皆さまから納めていただく会費と、広く皆さまからお寄せいただく寄付金を財源として、災害救護活動や国際活動などの人道的活動を展開しています。

今年度も、地区分区、赤十字奉仕団、自治会、日赤有功会をはじめ県民の皆さまのご理解を得るように努め、会費増強に取り組みました。

また、県内の幼・小・中・高等学校への赤十字募金のお願いや、個人・法人などへのダイレクトメール（26,500 通）での募集を行うとともに、企業等とのパートナーシップ(寄付金付自販機設置など)による寄付のお願いや、遺贈による寄付の周知による活動資金の協力依頼などを行いました。

（1）CSR（社会貢献）実績

① 寄付金付自販機設置実績

寄付金付自販機設置先	住 所
奈良県奈良土木事務所	奈良市
㈱ぐりーん	天理市
㈱RISING SUN	橿原市
㈲三輪そうめん天寿堂	桜井市
中造園	葛城市
道の駅ふたかみパーク當麻	葛城市
シンシアペットクリニック	三郷町

▲寄付金付自動販売機

② 活動資金募金箱設置

活動資金募金箱設置先	設置場所	活動資金募金箱設置先	設置場所
インプレス	奈良市	奈良カントリークラブ五条ｺｰｽ	五條市
新奈良ゴルフ倶楽部	奈良市	シプレカントリークラブ	五條市
東大寺	奈良市	秋津原ゴルフクラブ	御所市
奈良ホテル	奈良市	奈良中央信用金庫二上店	香芝市
奈良中央信用金庫南奈良支店	奈良市	宇陀カントリークラブ	宇陀市
奈良柳生カントリークラブ	奈良市	オークモントゴルフクラブ	山添村
㈲総合在宅介護センターきらり	奈良市	県立万葉文化館	明日香村
医療法人厚生会奈良厚生会病院	大和郡山市	吉野カントリークラブ	大淀町
中華料理 橘	大和郡山市		

③ 災害時物資支援協定の締結

締結先	設置場所
板倉石油㈱	奈良市
一般社団法人奈良県LPガス協会	奈良市
㈱八尾彦商店	王寺町

④ 支援マークの締結

締結先	設置場所
山本松産業㈱	天理市
㈱サンシーワールド	御所市

(2) 表彰制度

多額の活動資金を納入された個人や法人等については、国や日本赤十字社の表彰制度が適用されます。

① 日本赤十字社の有功章贈与・表彰実績

項　目	人 数	贈与対象内容
支部長表彰状・感謝状	32人	活動資金として一時または累計で10万円以上を納められた個人・法人等
銀色有功章	16人	活動資金として一時または累計で20万円以上を納められた個人・法人等
金色有功章	34人	活動資金として一時または累計で50万円以上を納められた個人・法人等
本社感謝状	25人	金色有功章受章後、更に活動資金として50万円を納められた個人・法人等

(金色有功章:個人 左:男性 右:女性)

(金色有功章略章)

金色有功章(法人)
銀色有功章(個人・法人)

② 国の表彰制度贈与・表彰実績

項　目	人 数	贈与対象内容
厚生労働大臣感謝状	1 人	活動資金として100万円以上を納められた個人 活動資金として 300 万円以上を納められた法人等
紺綬褒章	2 人	活動資金として500万円以上を納められた個人 活動資金として 1,000 万円以上を納められた法人等

▲紺綬褒章

10 奈良県支部有功会(会員数:428 人)昭和41年11月結成

日本赤十字社から金色有功章を受章された赤十字会員が、赤十字の人道精神に共鳴いただき、支部事業への積極的なご協力と、赤十字会員の増強等に取り組んでいただきました。

また、7地域の有功会（奈良市都祁、奈良市月ヶ瀬地区、大和郡山市、王寺町、宇陀地区、橿原市、生駒市）においては、それぞれの地域において会員の増強と赤十字運動に貢献していただきました。

(1) 国内義援金及び海外救援金として 50,000 円を送金しました。
（令和 3 年 7 月大雨災害義援金、令和 3 年台風第 9 号等大雨災害義援金、令和 3 年 8 月大雨災害義援金、令和 3 年長野県茅野市土石流災害義援金、NHK 海外たすけあい 各 10,000 円）

(2) 本社の国際活動資金に協力しました。（バングラデシュ保健医療支援事業）

(3) 奈良県赤十字大会開催への協力と助成金を交付しました。（300,000 円）

(4) 新聞広告による支援として、赤十字運動月間、愛の血液たすけあい月間、老人の日・高齢者保健福祉月間、救急の日、年賀、はたちの献血キャンペーンに、新聞広告を掲載しました。

(5) 総会等

月 日		行事名	場 所	内 容
8		有功会総会（文書審議）		令和 2 年度事業報告・会計収支決算 令和 3 年度事業計画
10		紺綬・有功会会長協議会（文書審議）		令和 2 年度事業報告 令和 3 年度事業中間報告

令和３年度 一般会計決算報告

１ 令和３年度 一般会計決算

（収　入）　　（単位：円）

	区　　分	令和3年度予算現額	令和3年度決算額	令和2年度決算額	前年度増減	付　　記
1	会費収入	167,620,000	162,784,425	159,547,774	3,236,651	地区分区(市町村)及び支部を通じた個人、法人からの会費、寄付金
2	補助金及び交付金収入	1,186,000	2,796,293	2,967,960	△ 171,667	本社からの交付金
3	繰入金収入	6,420,000	1,735,253	0	1,735,253	国際救護活動資金繰入 特別退職金準備金積立金廃止による繰入
4	資産収入	0	0	88,830	△ 88,830	支部災害救援車売却
5	雑収入	4,714,000	2,324,609	2,751,159	△ 426,550	講師派遣収入、講習用教材費収入等
6	前年度繰越金	25,000,000	43,214,664	30,605,427	12,609,237	前年度繰越金
収入合計		204,940,000	212,855,244	195,961,150	16,894,094	

（支　出）　　（単位：円）

	区　　分	令和3年度予算現額	令和3年度決算額	令和2年度決算額	前年度増減	付　　記
1	災害救護事業費	35,000,000	22,740,680	24,613,142	△ 1,872,462	災害に備えた救護装備費、救援物資整備費、医療救護訓練費、救護看護師養成費等
2	社会活動費	37,300,000	23,383,601	21,396,335	1,987,266	救急法等講習普及費、奉仕団及び青少年赤十字育成費、血液事業普及費
3	国際活動費	1,420,000	1,356,163	1,000,550	355,613	バングラデシュ保健医療支援事業
4	指定事業地方振興費	5,320,000	5,315,000	5,000,000	315,000	災害救護資機材整備費
5	地区分区交付金支出	16,390,000	9,807,075	9,818,497	△ 11,422	地区分区(市町村)における赤十字活動費
6	社業振興費	49,700,000	40,123,978	28,919,120	11,204,858	赤十字思想の普及啓発費、会費･義援金等募集費、社員管理費
7	基盤整備交付金･補助金支出	300,000	300,000	0	300,000	血液センター施設整備費
8	積立金支出	6,000,000	5,258,976	14,837,314	△ 9,578,338	災害等資金積立金 退職給与資金特別会計積立金
9	総務管理費	26,000,000	22,688,668	23,255,130	△ 566,462	支部の事業管理運営費
10	資産取得及び資産管理費	1,450,000	1,133,545	1,174,232	△ 40,687	施設管理費
11	本社送納金支出	23,850,000	23,170,413	22,732,166	438,247	本社への送納金
12	予備費	2,210,000	0	0	0	その他
支出合計		204,940,000	155,278,099	152,746,486	2,531,613	
	次年度繰越金		57,577,145	円		

2 令和３年度 会費収入

(単位:千円)

区分	H29	H30	R1	R2	R3
一般会費	116,513	137,794	118,789	139,707	143,606
うち地区・分区	82,881	79,721	78,892	75,549	75,439
うち有功会勧奨等	33,604	57,675	39,880	64,158	67,852
うち住民税控除対象の海外救援金※	28	398	17	0	315
法人会費	11,033	81,303	243,045	19,841	19,179
計	127,546	219,097	361,835	159,548	162,784

※個人住民税控除対象の海外救援金

H29 年度:南アジア水害救援金

H30 年度:インドネシア・ロンボク島地震救援金、インドネシア・スラウェシ島地震救援金
モザンビークサイクロン救援金

R１年 度 :モザンビークサイクロン救援金

R3 年 度 :ハイチ地震救援金

(1)日赤奈良県支部評議員会の開催

開催日時	場所	議　案
令和３年６月８日	支部	(1)令和２年度支部事業報告及び収支決算報告 (2)令和２年度血液事業報告
令和４年２月 (文書審議)		(1)代議員の任期満了に伴う選出 (2)令和４年度支部事業計画及び収支予算 (3)令和４年度血液事業計画

(2)監査報告

令和２年度事業・決算について、監査法人による外部監査を受けました。また、監査委員監査にて、支部監査委員２名の監査を受けました。

▲支部評議員会

▲監査委員監査

参 考 資 料

1 令和３年度 一般会費及び法人会費収納実績表

区分		令和3年度		令和2年度		前年度対比
		実績額(円)	前年比	実績額(円)	前年比	
一般会費	奈良市	12,797,578	93.4%	13,702,449	95.4%	△ 904,871
	大和高田市	3,287,160	98.9%	3,324,200	93.7%	△ 37,040
	大和郡山市	5,997,229	98.5%	6,086,515	98.7%	△ 89,286
	天理市	2,676,130	97.0%	2,759,200	99.1%	△ 83,070
	橿原市	6,464,849	105.8%	6,109,631	96.7%	355,218
	桜井市	2,070,679	104.5%	1,980,720	94.2%	89,959
	五條市	2,248,422	91.9%	2,446,465	94.2%	△ 198,043
	御所市	1,952,500	99.0%	1,972,000	95.1%	△ 19,500
	生駒市	6,636,050	99.7%	6,655,589	97.9%	△ 19,539
	香芝市	2,845,000	100.0%	2,845,000	100.0%	0
	葛城市	2,795,320	101.2%	2,763,190	97.1%	32,130
	宇陀市	2,406,060	98.4%	2,445,782	95.1%	△ 39,722
	市地区計	52,176,977	98.3%	53,090,741	96.5%	△ 913,764
	山辺郡	485,500	94.2%	515,500	99.1%	△ 30,000
	生駒郡	4,529,991	97.8%	4,630,140	98.5%	△ 100,149
	磯城郡	4,044,630	97.8%	4,134,483	97.6%	△ 89,853
	宇陀郡	544,000	98.8%	550,824	101.7%	△ 6,824
	高市郡	1,761,045	200.2%	879,500	48.9%	881,545
	北葛城郡	6,875,550	100.6%	6,837,750	98.3%	37,800
	吉野郡	4,523,438	102.8%	4,400,712	95.1%	122,726
	吉野西	497,900	97.7%	509,650	103.1%	△ 11,750
	郡地区計	23,262,054	103.6%	22,458,559	94.1%	803,495
	地区分区扱計	75,439,031	99.9%	75,549,300	95.8%	△ 110,269
	支部扱計	67,851,608	105.8%	64,157,394	160.9%	3,694,214
	※海外救援金計	315,000		0		315,000
	一般会費合計	**143,605,639**	**102.8%**	**139,706,694**	**117.6%**	3,898,945
法人会費合計		**19,178,786**	**96.7%**	**19,841,080**	**8.2%**	△ 662,294
会費合計		**162,784,425**	**102.0%**	**159,547,774**	**44.1%**	3,236,651

※「海外救援金」は、住民税控除対象の海外救援金を掲載しています。

令和3年度 火災・水害等による救援物資配付・弔慰金支給及び付添臨時救護派遣状況

地区・分区名		救援物資									弔慰金（件数）	付添臨時救護（看護師）	
		世帯	人数	毛布	布団	ﾊﾞｽﾀｵﾙ	緊急ｾｯﾄ	安眠ｾｯﾄ	ﾌﾞﾙｰｼｰﾄ	ﾀｵﾙｹｯﾄ		回数	人数
奈良市		15	32	40	15	11	7	0	0	7		1	1
大和高田市													
大和郡山市													
天理市												1	1
橿原市		2	3	5	3	3	2	0	0	1	1		
桜井市													
五條市													
御所市		1	3	0	2	0	0	0	0	0	1		
生駒市													
香芝市													
葛城市													
宇陀市													
市地区計		18	38	45	20	14	9	0	0	8	2	2	2
山辺郡山添村													
生駒郡	平群町	2	3	0	0	0	2	0	0	3			
	三郷町												
	斑鳩町	1	3	3	0	0	0	0	0	0			
	安堵町												
	計	3	6	3	0	0	2	0	0	3	0	0	0
磯城郡	川西町												
	三宅町												
	田原本町												
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇陀郡	曽爾村												
	御杖村												
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高市郡	高取町												
	明日香村												
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北葛城郡	上牧町												
	王寺町												
	広陵町	2	12	4	9	4	2	0	0	4	1	1	1
	河合町												
	計	2	12	4	9	4	2	0	0	4	1	1	1
吉野郡	吉野町												
	大淀町												
	下市町												
	黒滝村												
	天川村										1		
	下北山村												
	上北山村												
	川上村	1	3	3	3	3	1	0	0	0			
	東吉野村												
	計	1	3	3	3	3	1	0	0	0	1	0	0
吉野西	野迫川村												
	十津川村	1	1	2	1	1	1	0	1	0			
	計	1	1	2	1	1	1	0	1	0	0		
その他												7	7
県												4	14
合計		25	60	57	33	22	15	0	1	15	4	14	24

令和3年度 市町村別講習一覧

		救急法						水上安全法				健康生活支援講習						幼児安全法			
		基礎		養成		短期		養成		短期		養成		短期		災害時高齢者支援		養成		短期	
		回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生
奈良市		1	16	1		25	640			6	167			3	82	5	107			12	191
大和高田市																					
大和郡山市						4	77			1	14									2	61
天理市						10	185													1	12
橿原市						2	46							1	13						
桜井市						1	15														
五條市																					
御所市																					
生駒市						8	251									1	9			4	62
香芝市						1	19														
葛城市																					
宇陀市						1	16														
市地区計		1	16	1	16	52	1,249	0	0	7	181	0	0	4	95	6	116	0	0	19	326
山辺郡山添村						1	8														
生駒郡	平群町					2	41							1	21					1	15
	三郷町					3	82													2	14
	斑鳩町																			3	18
	安堵町																				
	計	0	0	0	0	5	123	0	0	0	0	0	0	1	21	0	0	0	0	6	47
磯城郡	川西町																			1	6
	三宅町									1	8										
	田原本町									1	31			1	38					1	25
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	2	39	0	0	1	38	0	0	0	0	2	31
宇陀郡	曽爾村																				
	御杖村																				
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高市郡	高取町																				
	明日香村													2	70					1	4
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	70	0	0	0	0	1	4
北葛城郡	上牧町					1	23														
	王寺町																				
	広陵町																				
	河合町					2	99														
	計	0	0	0	0	3	122	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吉野郡	吉野町																				
	大淀町																				
	下市町																				
	黒滝村																				
	天川村																				
	下北山村																				
	上北山村																				
	川上村																				
	東吉野村																				
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吉野西	野迫川村					1	22														
	十津川村																				
	計	0	0	0	0	1	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
郡地区計		0	0	0	0	10	275	0	0	2	39	0	0	4	129	0	0	0	0	9	82
県主催		2	50	2	87	16	353			2	24			2	65	1	160			1	41
その他		1	15			8	546														
支部		8	87			3	56														
合計		12	168	3	103	89	2,479	0	0	11	244	0	0	10	289	7	276	0	0	29	449